

令和 年(家)第 号

婚姻関係財産一覧表

令和 年 月 日 申立人 記入
令和 年 月 日 相手方 記入

不動産の評価時点は現在の時価で
ず。直近の評価額を入力してください。

妻名義の資産・負債 (基準時:令和 年 月 日)

番号	項目	妻主張額	証拠	妻の主張	夫主張額	証拠	夫の主張
1	不動産						
1-1	岡山市〇区〇〇〇番地1(建物) 共有持分2分の1	¥5,000,000	甲1	R3固定資産税評価額1000万円	¥5,000,000		認める
1-2							
2	預貯金						第三者名義(子の名義など)の財産で、財産分与の対象となるものについては、それがわかるように記載してください。
	金融機関名	種目・口座番号					
2-1	〇〇銀行〇〇支店	9876543	¥4,000,000	甲2			
2-2	△△銀行△△支店	7654321	¥2,000,000	甲3			
2-3	□□銀行□□支店	2468024	¥0	夫婦共有財産ではない	¥2,000,000	乙1	長女名義
2-4							
2-5							
3	保険						
	保険会社	種別・証券番号					
3-1							
3-2							
3-3							
4	退職金						
4-1							
5	有価証券						
	銘柄	数量					
5-1							
5-2							
5-3							
6	その他の資産						
6-1							
6-2							
	資産合計	¥11,000,000			¥7,000,000		
7	負債						
	金融機関名	内容					
7-1							
7-2							
	負債合計	¥0			¥0		
	妻名義の資産・負債の合計	¥11,000,000			¥7,000,000		

住宅ローンがある場合であっても、不動産の評価額をそのまま入力し、住宅ローンの残額は住宅ローンの欄に入力してください。

夫名義の資産・負債 (基準時:令和 年 月 日)

番号	項目	妻主張額	証拠	妻の主張	夫主張額	証拠	夫の主張
1	不動産						
1-1	岡山市〇区〇〇〇番(土地)	¥10,000,000	甲4, 5	R3固定資産税評価額1500万円 購入額3000万円のうち妻の両親から1000万円の援助を受けており、現在の評価額の3分の1は妻の特有財産である。	¥15,000,000		特有財産についての主張は争う
1-2	岡山市〇区〇〇〇番地1 共有持分2分の1	¥5,000,000	甲1	R3固定資産税評価額1000万円	¥5,000,000		認める
2	預貯金						特有財産についての主張がある場合には、主張の旨を入力し、評価額は、当該主張に基づく金額を入力してください。
	金融機関名	種目・口座番号					
2-1	〇〇銀行〇〇支店	1234567	¥2,000,000	認める	¥2,000,000	乙2	
2-2	△△銀行△△支店	2345678	¥3,000,000	認める	¥3,000,000	乙3	
2-3							
2-4							
2-5							
3	保険						
	保険会社	種別・証券番号					
3-1	〇〇生命	345-678910	¥4,500,000	甲8	¥4,500,000		認める
3-2							
3-3							
4	退職金						
4-1	株式会社■■■		¥20,000,000	認める	¥20,000,000	乙4	
5	有価証券						
	銘柄	数量					
5-1							
5-2							
5-3							
6	その他の資産						
6-1	自動車(岡山500-い-1234)	¥300,000	甲11	見積もりによれば30万円程度の価値はある。	¥0	乙5	登録後10年以上経過しており無価値である。
6-2							
	資産合計	¥44,800,000			¥49,500,000		
7	負債						
	金融機関名	内容					
7-1	〇〇銀行	住宅ローン(1-1,1-2)	¥-10,000,000	甲12	¥-10,000,000		認める
7-2	株式会社〇〇	生活費	¥0	夫の浪費によるものであり、考慮すべきでない。	¥-2,000,000	乙6	
	負債合計	¥-10,000,000			¥-12,000,000		
	夫名義の資産・負債の合計	¥34,800,000			¥37,500,000		
	夫婦の資産・負債の合計	¥45,800,000			¥44,500,000		
	夫婦の資産・負債の半額	¥22,900,000			¥22,250,000		